



ボランティアわ

ボランティア【ポルトガル語で舵とり】 わ【輪、和】を意味します

2002年
4月14日発行
春号(季刊)
Vol. 8

共催がもたらす交流を未来につなげよう!!

大歓迎
されちゃいました!

ソウルワールドカップスタジアム見学&ボランティア交流ツアー

2月22日~24日

2002 ワールドカップ(以下、W杯)の楽しみ方を考えた時、共催国である韓国のソウルスタジアムを見学し、現地のボランティアの方々とお話ができたらどんなに素晴らしいだろうと思いました。しかし、企画に当たって困ったのはソウルのボランティアに知人がいないことでした。JAWOC 横浜支部に相談して、本部から KOWOC を経由して KOWOC ボランティアで幹事になっていただけの方を紹介された時、実行できると確信しました。参加者は8名でしたが、初めの想定を超えたボランティア相互交流ができ、いま、参加者全員はこの体験を通して本番への闘志が漲っています。私達はこれを契機に、横浜とソウルが「ボランティア交流姉妹都市」を目指して永久の交流を実現させていくのが恩返しでもあり、使命でもあると考えています。(代表 浅見圭一)

<ソウル市街のW杯熱気> 2月22日12時、広く新しい仁川(インチョン)空港に到着。目についたのは通路からロビーまでW杯のポスターや横断幕でした。空港内ではボランティアの文字を背に書いた日本語の話せる人がいて、いろいろ案内をしていたのも印象に残りました。3日間そして早朝から遅く迄案内をして頂いた KOWOC メディアボラのピョンさんの出迎えを受け一路市内へ。車中、私達の写真入りで「KOWOC/JAWOC ボランティア交流」の載った新聞が配られ、明日の韓日ボラ交流が大々的に流されているのにも驚きました。沿道や目抜き通り・ビルの建物には参加国の国旗がはためき、官庁街には回転する巨大なサッカーボールが飾られて、韓国のW杯熱気が伝わってきました。2日目3日目に訪れた東大門(トゲムン)・南大門(ナゲムン)の市場の賑わい、居酒屋の繁盛や夜店の賑わいに韓国のエネルギッシュな活気が充満していて、韓国の活力を見ることが出来ました。

<黄金のトロフィーに感激> この日はソウルでのW杯トロフィー展示の最終日。夕刻急いで終了間際の市庁舎展示場へ。1階ホール、ここで私たちを待っていた人がやはり KOWOC のお母さんと娘さんのボランティア。突然の花束の歓迎を受けて新たな感激。厳重な警戒の中、収納してあった覆いを開けていただいて時間を延ばして心いくまで鑑賞・撮影ができました。2階には展示室があり、10会場の精密な競技場模型の他、ポスター等を自由に観覧ができるようになっていました。



<ワールドカップ・スタジアム> 2日目のいよいよソウル・ワールドカップスタジアム見学。市の中心、市庁駅から地下鉄600ウォン(60円)を利用して15分で競技場駅到着。天井が高く大理石の床の近代的な駅。長いエスカレーターで上へ。外はすり鉢の底。広い半円形に広がる階段を登るとそこに巨大なスタジアム。ここは整備された公園。広い空間。警備の警官二人一組が要所要所に立っている。厳しい姿に童顔が残る20歳前後の若者ばかり。ソウルを流れる漢江(ハンガン)の黄布船のイメージと伝統的なお膳(お客さんをおもてなしする時に使うお盆)の上に伝統の凧を表した屋根(テフロン膜とガラス採光板)。競技場全体が明るい。芝は長期間(3~11月)耐える。ここで案内していただいたのはNHKテレビで見かける競技場日本語ボランティア。大型スクリーンには韓日交流の文字が映像に流される。VIP席の裏にキッチンが備えられていた。競技場内には広報館があり競技場全てが分る様展示されて市民や学生が多く訪れている。競技場の一般見学者は入場時に空港と同じ様な厳重なセキュリティを受ける。この国では「警備」が市民の日常の生活に組み込まれているのだ。



~~~~~  
\*\* 2002年6月30日 世界がこの日を待っている \*\*  
~~~~~

<韓日交流会> スタジアムの貴賓室にはコの字形に、KOWOC 関係者とソウルボランティア 10 名と私達が並んだ。テレビ・報道者が動く中、歓迎の挨拶・返礼・自己紹介のセレモニーが行なわれた。通訳は 1 月 1 日 NHK の放映で韓国側の司会を努めたナヨンさん。日本語版の競技場ビデオを観る。そして韓日全員ワールドカップ旗に寄せ書き。これは貴賓室に永久展示されることになるとか。一通りスタジアム見学を終えて昼食は韓国の宮廷料理。ここでは全員ばらばらになって、ボランティア同志が打ち解けての交流と記念品の交換が行なわれました。

<仁川文鶴(ムハク)競技場> 3 日目帰国日、荷物持参で地下鉄利用。前に高速道路、大きな公園の中にシンプルな建物。多用の展示物の場があり、日本語版のスタジアムビデオが用意されて鑑賞。案内はスタジアム日本語ボラ。ここでも若い警官が目立つ。特別の入口から入場。ここでもセキュリティがある。5 万人収容の総合競技場。芝は一面茶色。テフロン膜の吊屋根。20 席のベランダ式の個室は 500 万円。特別室見学は KOWOC と言えども警官が許可しなかった。

<ソウルの食> 大都会のビル・眩いネオン・広い道路・車の洪水、そこから路地裏の奥。木造平屋の家庭的な雰囲気焼肉店。JINRO で乾杯。肉は豚の三枚肉。ご飯とコチジャン(唐辛子味噌)やキムチをサンチュに巻いて大口でパクリ。これは美味しい。山型の鉄鍋で白菜・キムチを焼くと豚の油を含んで、また美味しい。

仁寺洞(イサト)の喫茶店。路地奥の旧農家。柚子茶・カリン茶で一休み。柚子・カリンをジャム状に煮詰めてお湯を注ぎます。暖かく身体に沁み込みます。ソウルの友と横ボラの仲間、一つの輪になってオンドルの心地良い暖かさの中、胡座をかいて心から寛げたひとときでした。

<感想> ラッシュアワーの地下鉄。自分で切符を買いよくも迷わず乗り切れたと思ったが、ボランティアの皆さんが気を遣って身体を支えてくれていました。込み合う車中、市民の人々がサッと席を立てて空けてくれたり、吊革を譲ってくれた。一つ覚えの「アンニョンハセヨ(こんにちは)」「カムサハムニダ(ありがとう)」を思い切って使う。眼が合った時、無表情だった青年がにっこり微笑み何か答えてくれた。皆な純粋な人達だ。

近くて遠い国のイメージは無くなりました。終日通訳や案内に貴重な時間を頂いたボランティアの方々に感謝します。絶対W杯共催を成功させなくてはならないです。私たちががんばって、これからハングルを覚えよう。



<韓国の新聞記事(訳)>

韓日W杯ボランティア・素晴らしい出会い。19 名初の交流会・共催成功を誓う。

「韓日W杯共同開催の真の意義を私達ボランティアが取

한-일 월드컵 자원봉사자 '멋진 만남'

19명 첫 교류모임... 성공개최 다짐

“한-일월드컵 공동개최의 참의미를 우리 자원봉사자들이 되살리겠다.”

23일 오전, 서울삼암월드컵경기장에 모인 일본과 한국의 자원봉사자들이 한 목소리를 냈다.

결승전이 펼쳐질 요코하마경기장 자원봉사자 9명과 개막전이 열리는 상암월드컵경기장 자원봉사자 10명이 바로 그들.

양국의 자원봉사자가 교류모임을 가진 것은 이번이 처음이다.

이 모임의 일본측 간사를 맡은 아사미 게이치씨(34)는 “양국 조 직위를 통한 공식적인 모임보다는 자율적인 교류를 갖고 싶어 이 자리를 마련했다”며 “공동개최가 지렛 양국의 지나친 자존심 대결이 될 수 있지만 축구에 대한 열정으로 똘똘 우리들이 공동개최정 신의 참의미를 살리고 싶다”고 말했다.

한국측 간사인 이은형씨(45)도 “이번 월드컵은 대외로서의 의미 뿐 아니라 한일 양국의 아픈 과거사를 풀 수 있는 좋은 기회”라며 “자원봉사자들의 힘으로 성공개최를 꼭 이루어 내자”고 답했다.

자원봉사자들은 이번 모임을 계기로 향후 지속적인 교류 네트워크를 구성하기로 의견을 모았다.

<남정석 기자 bluesky@>

り戻そう」と 23 日、ワールドカップスタジアムに集まった韓国と日本のボランティアが声をつにしました。決勝戦の横浜国際総合競技場(以下、横浜国際)のボランティア 8 名と開幕戦が開かれるワールドカップスタジアムボランティア 11 名。両国のボランティアの交流集会を持つのは今回が初めて。日本側の代表・浅見氏は「もっと多くの自由な交流を持ちたかった」「サッカーの情熱で一緒になった私達が共催精神の本当の意味を取り戻そう」。韓国幹事のイ・ウニョン氏も「W杯大会は韓日両国の辛い過去を解決する良い機会」「ボランティアの力で共同開催を必ず成功させよう」と答えた。ボランティア達は今集会を切っ掛けに持続的な交流ネットワークを作ろうとの意見を交わした。

<参加者>

平川みゆき・佐藤良子・田中澄子・田中久夫・浜砂厚雄・百々邦夫・佐藤大治・浅見圭一

= = 1-2 面は参加者の合作で構成されています = =

おじゃましまぁ～す！ ～他スタジアム訪問記～

横浜ベニュー-W杯公式練習場紹介

待ちに待ったW杯まであとわずか。ここではW杯出場国が利用する公式練習場について紹介します。その前に新聞等でよく目にした公認キャンプ地と混同し、間違えやすいので両者の違いについて説明します。

公式練習場はFIFAが各開催地ごとに用意する練習場であり、主にそこで試合を行なう国が利用するものがあります。一方、公認キャンプ地は各自治体と出場国が交渉し、両者の合意によって契約したものです。([例] 日本 磐田市、ナイジェリア 平塚市) 横浜市でキャンプをする国はありませんが三ツ沢公園、保土ヶ谷公園、なぎさ公園の3ヶ所が公式練習場になっています。

「三ツ沢公園」 公式練習場として球技場、陸上競技場の2面確保されています。三ツ沢といえばサッカーのイメージが非常に強く以前マリノス、フリーゲルスが球技場をホームグラウンドとして使用していました。現在はJ2の横浜FCのホームグラウンドになっています。また、正月の高校選手権の会場にもなっており毎年熱戦が繰り広げられています。従って、球技場がサッカー専用と思われがちですが、実はラグビー競技も多く開催されています。そのため、サッカー専用スタジアムに比べゴール裏のスペースを広めにとってあります。それから、グラウンドは四方をスタンドで囲まれているため外から中の様子を見る事が出来ません。よって、非公開練習に向いておりセットプレー等のチェックが可能です。



一方、陸上競技場は球技場の隣にあり、主に陸上の大会に使用されています。球技場と違い、一部すり鉢状になっているので外からグラウンド内を見る事が出来ます。

よって非公開練習には不向きです。現在、W杯に向け照明灯の増設、スタンド等の改修工事が進んでおります。公式練習場としてグラウンド2面確保されていることから多くの国々に利用されることでしょう。

「保土ヶ谷公園サッカー場」 名前のとおり公園内にあります。ここはサッカーより野球で知られており野球場が漫画「ドラゴンボール」のモデルになりました。サッカー場は野球場の隣にありますが普段Jリーグ等の試合に行かれていた方なら「えっ」と思うほどこじんまりしたものです。スタンドもメイン以外は芝生で猫の額ぐらいしかありません。しかもすぐ隣に遊歩道があるためバックスタンドを設置するスペースがなく、ゴルフの打ちっ放しを思わせるような高いネットが張られています。従って多数のサポーターが押し掛けた時、どう対処するのかという問題はあります。ただ、グラウンドとスタンドの垣根が低いので選手とふれあうにはいい所だと思います。その他公園内には植物園もあり見学の合間に立ち寄ってみてはどうでしょうか。疲れた体をいやしてくれると思いますよ。



「なぎさ公園」 正式名称は海の公園なぎさ広場です。名前のとおり海のそばにあり、風の強い日には砂塵で大変だと思えます。私が行った時も大変な強風で歩くのがやっとの状態でした。ここは空き地に囲いをただけでサッカー場というより売り出し中の物件といった感じです。スタンドもなく本当にただの空き地ですごく開放的な気持ちになりました。三ツ沢、保土ヶ谷とは対照的でリゾート公園の趣があります。ですから試合のための練習をするより、試合後のクールダウンをするのに適した場所だと思います。付近には海浜公園、八景島もあり、サポーターにとっても練習の見学だけでなく観光スポットとしても歓迎されるのではないのでしょうか。



果たして6月下旬にこの公式練習場に登場するチームはどこどこでしょう？

菅沼 哲也(U)

活動4年目！ W杯目前！ その後に向けて！

1999年3月にスタートした競技場ボランティアとしての活動は早くもこの3月で4年目を迎えました。4年前には知らなかった顔がお馴染みの顔となり、競技場のこと、サッカーのこと、イベントのこと...、いろいろなことをあの頃よりもたくさん知ることになって、ボランティア活動が生活の一部、あるいは大部分を占めている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？ 今年もW杯という大きなイベントを控えています。私たちの活動はもちろんその後も続きます。W杯前も、そしてその後も大イベントの経験を活かして一層、楽しく充実したボランティア活動にしていきたいですね？

今回は運営ボランティアがJリーグの活動時にお世話になっているニッソーサービス(株)根本様と競技場事務局で見学ボランティアを担当して下さっている武ノ内さんにお言葉をいただきました。また2002年3月3日、Jリーグ活動時に運営ボランティアの皆様インタビューさせていただいた[Voiceインタビュー編]も合わせて掲載しています。

皆様は4年目を迎えてどんな意気込みを持たれていますか？ そしてW杯をどんな風を楽しめますか？

「新年度を迎えるにあたって」

ニッソーサービス(株)根本 輝夫

今年でボランティア活動も、4年目となり私がJリーグ時に皆様とお付き合いをさせて頂いて、3年目を迎えました。昨年よりリーダー制を取り入れ、出だしこそさまざまな問題が出ていましたが、回数を重ねること毎に、リーダーを中心にまとまりが出てきたように思います。

さてリーダー制を導入し2年目の今年、リーダーの数も昨年より増えボランティア組織として着実に変わりつつあるように感じます。私が担当としてボランティアの皆さんとお付き合いさせて頂いた当初は、今よりも沢山の問題があり正直私も「ボランティアで大丈夫かな」というのが本音でした。多分ボランティアの方々も「業者に使われているならボランティアをやめよう」と思っていた方も多数いらっしゃると思います。そんなこんなで私の1年目が終わり2年目を迎えた昨シーズン競技場さんからリーダー制を導入するというお話を受けそのほうがボランティアさんの為にも私たちにとってもいいのではないかと思います。実際に出だしこそ問題もありましたが1stステージが終わるころには、リーダー制の形が出来ていたように思います。私も何度かリーダー研修にお邪魔させていただきましたが、皆さんの熱心な研修を拝見させていただき頼もしく感じました。

ボランティア活動が4年目を迎えるにあたりコメントをということでしたが、私たちから皆さんへひとつだけお伝えしようと思います。ボランティアとは賃金を貰わずに何かすることがボランティアなのではなく、自発的に何かをした結果、誰かの為になることがボランティア活動なのではないかと私自身は考えています。ですから出来る出来ないに関わらずさまざまな意見を頂ければと思います。

皆さんの中にはJリーグ時の活動内容や活動方法などまだまだ不満に思っている方も大勢いらっしゃるかと思いますが、少しずつではありますが改善していければと思っています。私一人の意見ではありますが、今よりもボランティアの活動が活発になればと思っています。(サラリーマンの私にはつらい話ですが、これも現代社会の流れなので...)

最後に私から皆さんへ一つお願いがあります。試合運営についてボランティアさんと私たち業者との考え方や問題の捉え方など違っている部分もあるかもしれませんが、しかし皆さんも試合を運営する上で重要な役割を担っているのだということだけは忘れないでください。(こんなところになくても、こんな活動はいらないんじゃないか、などなど...。皆さんの活動の中でいらない配置など一つありません。)1試合に何かひとついいことを見つければ、何かひとつお客様に喜んでもらえればそれがボランティアの姿だと思います。今シーズンも開幕し横浜F・マリノスを盛り上げていければと思っていますので、今度ともよろしくお祈りします。

「見学ツアー実施報告」

競技場ボランティア事務局 武ノ内由紀子

昨年4月より競技場での勤務が始まり、早いもので1年が過ぎてしまいました。さて今回は、平成13年度の見学ツアーの実施報告をしたいと思います。4・5月は月間250名前後の参加者でしたが、コンフェデレーションズカップ開催の6月は、約700名を超す来場者を迎えました。その後、7～11月までは、月間約500名ペースでした。年末以降多くのメディアがワールドカップについて取り上げるようになり、その影響なのか、12月は900名以上の来場者、そして年を越してからの1月は、1,000名を超え、2月には一日に300名近く来場する日が増え、2,000名を超えました。この結果1年間で見学ツアーは、8,000名以上の来場者を迎えることとなりました。

W杯が近づき、国内外を問わず、海外のお客様も多く来場され、世界全体が5月31日の開幕、そして6月30日の決勝を待ちに待っているようです。競技場の顔であるボランティアの皆様には、今後も明るく、笑顔で、「ようこそ横浜国際総合競技場へ！」とお客様をお迎えしてください。



「4年目を迎えて」

取材・編集 瀬戸朗功 (U)

「みなさんのお役に立てるようにがんばりたい！」3月3日Jリーグ開幕戦での活動中に、ボランティアリーダーのひとりが明るい表情で話をしてくれました。

今年度から新任リーダー21名を含む総勢50名のリーダー体制で運営していきます。3年前に比べるとボランティアマニュアルを基にリーダーの役割が整理されて運営がスムーズになっています。

前年度のボランティアリーダーの様子を見て「リーダーをやってみたい！」と思い、申し込みをされた方や、「リーダーの人数が少ないと感じたので今回申し込みをした」という積極的な意見が多くみつけられました。また、競技場ボランティアの組織化を目指してがんばっている方もいらっしゃいました。

<リーダーのバックアップ>

昨年度から引き続きリーダーをされている方からは、「個人のスキルアップはもちろんだが、今までの経験を活かして新任リーダーをサポートしたい。」との意見もあり、新任リーダーにとっては心強いことでしょう。また、リーダー以外の方もリーダーをサポートし、リーダー任せにならないように心がけが必要ではないかと感じました。

<専門的な研修も・・・>

注目を浴びている横浜国際総合競技場だけに、多数のお客様が来場されます。私たちもいつどこで突然のケガや病気などの予測できない事態が発生するかもしれません。その為にも、今年2月にリーダーを対象に行なわれた応急手当講習を、全ての競技場ボランティアにも受講できるような場がもてればとの提案もありました。

<W杯後も変わりなく続けていきたい>

「生きがいなのでこれからも続けていきたい。」「W杯後もボランティア活動を続けていきたい。」それぞれの目的でボランティア活動をされていますが、性別や年代を超えて様々な人と知り合いになれるのも魅力のひとつです。運営ボランティアにはイベントだけではなく、会報誌「ボランチわ」の編集、事務局補助などの活動もあり、興味はあるものの、時間が取れないという方もいらっしゃいました。

ボランティア活動を通してF・マリノスが好きになり応援するようになったという声も聞きました。

自分の意志でボランティア活動に参加するということは、全てに対して責任感が必要になってくると思います。活動中にも関わらず、取材に協力していただいたボランティアのみなさんにお礼申し上げます。

「W杯を楽しむ」 - ボランティアとして -

取材・編集 井上敦子 (U)

今年6月。我々の仲間の多くが、世界最大のスポーツイベントに、ボランティアとして参加します。たくさんの苦難が待ち受けていることは想像に難くないのですが、その中でもボランティアとしてW杯に「楽しみ」を見つけるとしたら…。今回は運営ボランティアの方々に直接お話をうかがいました。

お話をうかがった方々は、ほとんどJAWOCボランティア(競技場内)だったのですが、もちろん純粋に試合を楽しむことはできません。でも現場でしか味わえない、W杯ならではの会場の雰囲気、歓声を自分の肌(背中?)で直接感じたいと思っている方が多くいらっしゃいました。また、コンフェデレーションズ杯をボランティアとして経験した方からは、活動で得た達成感、初めての感動が忘れられない、というお話をたくさんうかがいました。W杯でもあの時以上の達成感を味わいたい、という気持ちが皆さんを動かしているのでしょうか。コンフェデレーションズ杯経験者は、ここぞという時にきっと踏ん張れる、と確信しました。

普段の活動と違い、我々ボランティアも国際的な評価を受けるということを意識なさっている方もいらっしゃいました。海外の目というところがちょっと緊張してしましますが、W杯の成否を直接担う責任もまた「楽しさ」なのでしょう。

また少数ではありますが、横浜国際で試合を観戦するという幸運な方もいらっしゃいました。ボランティアとしては別の会場で活動するという方は、試合はもちろんのこと、ボランティアという立場から、仲間がW杯で活躍する勇姿を今からとても楽しみにしているとのことでした。

最後に、ちょっと意地悪な質問をぶつけてみました。「もしW杯のチケットをあげますと言われたら、ボランティアはどうしますか?」ほとんどの方は、それでもボランティアをやる!と迷いなくお答え下さいました。一方、とっても迷ってしまう、できれば両立したい、という正直な方も。サッカーファンなら当然の気持ちでしょう。それでもあえて裏方に徹しようとする姿勢が、私にはとても誇らしく思えるのでした。



サッカー狂の人達

佐藤健二 (T)

国立競技場で行なわれたトヨタカップの翌日にアルゼンチンサポーター約40名が横浜国際へ見学に来ました。集合時にどんな人達で、どんなスケジュールで、何の目的で来たのか興味が沸き聞いてみましたら、アルゼンチン各地からブラジルのサンパウロへ、そして成田へと片道30時間かけて来て昨日観戦したとのこと。帰国前の今日を観光にするかワールドカップ決勝戦会場見学するか投票したら全員が見学を希望した由。見学後即成田に直行すると言うので驚きました。

また、私は現地のトヨタ等日本企業関係者で招待されて来たものと思っていましたが、全員一般募集の参加者で自費。更に驚いたのは、余裕のある人は少なく大方の人は3～5年のローン。即ちサッカー1試合観戦のため借金をして、往復60時間を掛け

て来ているサッカー情熱の大きさでした。そんな彼らに、「6月30日の決勝戦はアルゼンチン対日本の試合になるよ」と言うと2、3人が義理で拍手したが、対戦国が日本で有り得ないと顔に出ました。

南米の彼らは陽気であると同時に縛られることは持っていなかった。来場は3時間の遅れ、場内で付いてくる人は2、3名、上段へ下段へ逆方向へと駆け回り、嚴重に言っても芝生に腰を下ろして念入りにチェックする始末。帰るうしろ姿を見送りながら全員無事帰国できるかと心配になりました。



2002.3.31 見学ツアーの様子

見学ボランティア 他スタジアム 研修会 「エコパ&日本平」

3月24日(日) 横浜駅西口天理ビル前を7時20分バスで出発、満開の桜を車窓から眺めながら一路東名高速を静岡県小笠山総合運動公園「エコパ」へ。小笠山丘陵の豊かな自然の中に建つ「エコパ」で2時間の見学。正午には次の清水市日本平運動公園球技場へ出発。車中昼食をとり、少年団サッカーで賑わう「日本平」で1時間の見学。渋滞で「清水サッカーミュージアム」には寄れなかったが、車中で競技場運営スタッフの方々から貴重な「運営内緒話」をたっぷりとお伺いできて、見学ボラも特別参加した運営ボラもとても勉強になりました。有難うございました。今度は是非「全体研修会」でご披露お願いします。参加者：競技場9名ボランティア23名。

報告：安田十四雄 (U)



小笠山総合運動公園 「エコパ」

日本平運動公園の芝



紙上見学ツアー

振り返ってみると、今年の冬は暖冬でした。しかし、やはり冬ですから日によっては寒さのきびしかった日があったと思います。運悪く、そんな時に当番だった人は大変だったと思います。そして、寒さ以外にも今年になって急に増えた見学者の対応にも苦労された方もいるのではないのでしょうか。

見学者が増えているということは、ボランティア発足当時とは、遥か彼方という感のあったW杯がもう目前ということです。想像してみてください、全世界にこの競技場が放映されるのです。もちろんそれは正確に言えば、競技場ではなくサッカーの試合なのですが、見学ツアーに参加した人は、試合だけでなく競技場も観ていると思います。一緒に観ている友人や家族に競技場について説明していたりして、併せて、その時に担当したガイドの顔も思い浮かべているのではないのでしょうか。そんなことを考えると、もっとしっかり説明しておけばよかったかなと反省しています。

会議等報告

平成13年度 第4回運営ボランティアリーダー会議

競技場ボランティアルーム

日時 1月27日(日)10時から12時

出席者(事務局)村本・宮田 (リーダー)27名

議題 1:平成14年度活動について

司会 村本係長

記録 平川みゆき

登録更新調査結果報告 再登録の279名で新年度活動を行う

事業計画について 第1回リーダー研修会から年度末までの計画(別記)

交通費について 今後の活動交通費金額について検討し意見交換される

新役員選出について 2/10リーダー会議にて10名を選出する

平成13年度リーダー退任者4名(計9名)の退任挨拶

事務局業務補助について 希望者募集結果及び補助業務について事務局より説明

2:2月10日リーダー研修について 内容・運営方法の検討 港北消防署より講師を招いて普通救命講習

平成14年度 事務局業務補助ボランティア説明会

競技場ボランティアルーム

日時 2月10日(日)11時から12時

出席者(事務局)村本・宮田 (ボランティア)24名

議題 1:平成14年度の活動全体について事務局より説明

司会 村本係長

記録 岩松節子

全員の自己紹介、新年度登録更新結果、リーダーの増員と役割、年間活動計画など

2:運営ボランティア事務局業務補助の業務内容・運営について

業務は24~25名が3班に分かれて、各班年間3回程度の予定、平日半日程度の業務が多い

主な業務内容は活動調整アンケートや決定通知の印刷・宛名貼り・袋詰・発送

活動前日と活動当日の欠席者の補充連絡・配布資料の印刷・集会場づくり

更新意向調査用紙の宛名貼り・発送 更新者及び新規者のIDカードと委嘱状の作成

3:班編成と各班連絡網の作成 土日活動希者を3班に振り分ける

4:活動予定 2/16更新IDカード・委嘱状の作成と封入作業 3/2、4/6、5/2、5/8J活動準備作業

平成14年度 第1回運営ボランティアリーダー会議&研修会

競技場 103会議室

日時 2月10日(日)13時~17時

出席者(事務局)中村・村本・宮田(リーダー)47名(コッソ)根本

議題 1:リーダー研修会:普通救命講習会「応急処置~心肺蘇生法」

講師 横浜市消防局 小机消防署 小机出張所須藤所長 他5名

基調講義の後、4班に分かれての気道確保・人工呼吸・心臓マッサージの実地講習を約3時間にわたり行う。一部に普通救命資格所有者がいましたが、殆どが初体験のためか皆さん真剣に受講されて、あっという間に時間が経過してしまった。やはりJリーグはもとより、ワールドカップという大イベントを前にしてこの研修はとても有意義でした。是非この1回の講習にとどまらず次の段階に進めましょう。

2:リーダー会議:

「Jリーグ活動マニュアル」に基づいた活動当日の業務について

昨年度「活動マニュアル」作成に携わった4名の委員から、マニュアルを参照して各セッション担当の業務について細部の注意点の説明があり、新年度活動がスムーズに運営されるよう確認された。

平成14年度登録更新調査結果発表・活動計画・組織体制(リーダー体制・役割・役員制)・

事務局業務補助ボランティア等の説明。

リーダー数は 平成13年度 38名、平成14年度 50名(辞退者9名 新規21名)

平成15年度 50名 (退任者20名 新規20名 予定)

リーダー役員の選出 出席者全員の賛同により下記の通り平成14年度の役員が選出されました。

安田十四雄、橋口正、緒方二三男、山本勇、大橋靖子、中山正、青木義次、平川みゆき、岸本章、佐藤大治

平成14年度 第1回 運営ボランティアリーダー役員会議

日時 3月2日(土)13時~15時

出席者(事務局)村本 (役員)10名

議題 1:役職担当決定 代表 安田十四雄 副代表 緒方二三男・大橋靖子・橋口正・山本勇

担当 渉外:岸本章・橋口正 企画:平川みゆき・緒方二三男 会計:中山正・大橋靖子

記録書記:青木義次・佐藤大治・山本勇

2:本年度より活動テーマ・目標を設定

「笑顔で挨拶」「意識的にごみ拾い」以後順次設定し、3月3日の活動より実行する。

3:本年度の研修会・交流会の企画

4月20日(土)リーダー会議 7月中旬 全体研修・交流会を開催の予定で企画進行する。

4:1グループリーダーの役割・業務の確認

新役員の為に1グループのリーダーの役割・業務について説明があり、それぞれ確認する。

② いんふおーめーしょん

横浜国際総合競技場事務局だよ!

Jリーグが開幕して2002年の活動も本格化してまいりました。今年から「リーダー役員制度」や「事務局補助」を導入して、さらに自主的な活動へ展開が図られています。

W杯開催も秒読みになり、ますます盛り上がっていきそうです。W杯にボランティアとして参加される方には、ぜひとも数年の実績を糧にして、終わった後に感動できるような実りある活動をしていただきたいと思います。

現在見学ツアーがとても好評で、土日祝日には約300名程度の方が参加しています。参加者が多い時にはツアースタッフを増員して対応していただいております。今後も参加者の増加が考えられ、忙しい日々が続くと思いますが見学ボランティアの皆さんのご協力をお願いします。

今後のイベントスケジュール

月	日	イベント名
4月	17日	リチャレンジカップ 日本 vs コスタリカ
	3日	ナビスコカップ 横浜 vs 京都
5月	4日	チビリンピック準備
	5日	チビリンピック

4月～6月のスタジアムツアー開催日

(11時 13時 14時 15時 16時 スタート)

4月 18日(木) 19日(金) 20日(土) 21日(日) 24日(水)
25日(木) 26日(金)

5-6月は、見学ツアーの開催はありません。(7月再開予定)



サッカー部だよ!

みなとみらいのサッカーパークで練習してまーす!

W杯までの期間限定でオープンしている市民の会のサッカーパークで月1回練習しています。みなとみらいの夜景に包まれながらボールを蹴っていると贅沢な気分になりますよ。(注: 練習時間はいつも夜とは限りません。)練習内容は初心者も楽しみながら参加できるようになっていますので、ボールを蹴ったことのない人も大丈夫! もちろん女性も大歓迎! 練習日程はMLでお知らせします。(ML未登録の方には直接ご連絡します)

「歩く会を作りませんか」

昨年暮、ポカポカ陽気に誘われて競技場近くの鶴見川の土手を歩きました。あたりは大規模な工事の真最中でしたが、一方で、川面にはカワウの群れやアオサギがいました。競技場の周辺にも良い所が沢山ありそうです。競技場周辺を歩いてそうした魅力を見つけ出し、競技場を中からだけでなく、周辺からも盛り上げていきたいものです。植物に詳しい人は身近にいます。食べ歩きもいっしょ、イラストマップ作りや写真展なども面白そうです。これからボランティア魂にも余裕の気持ちを備えていくのも必要なことでしょう。皆様のご意見をお聞かせください。 湯浅鉄男 (U) メール: t-yuasa@jb3.so-net.ne.jp

ボランチわ メーリングリストへ登録しよう!!

リアルタイムの情報交換を行うべく開設されたメーリングリスト。活動時や会報での案内では間に合わない情報はもちろん、質問や意見交換なども展開されています。登録方法は「名前」「ID 番号」「登録したいメールアドレス」を vfe02110@nifty.ne.jp (管理人: 前田哲哉) へメールして下さい。その際「ボランチわ ML 登

メーリングリスト



編集後記

このところ、いくつかの他スタジアムに行く機会がありました。わくわくした思いを抱えながらスタジアムに向かう時や、スタジアムに一歩入って目の前に芝のピッチが見える瞬間が大好きです。私たちはこういうお客様をお迎えしているんだなあ...と改めて思いました。それも W 杯の決勝が行われる会場で! なんて幸せなことでしょう...。スタジアムを後にするお客様にもポッと温かくなるような“何か”をお持ち帰りいただきたいですね。(第8号編集担当: 安部由美)

録希望」と明記して下さい